

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報(カルテの情報など)をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡ください。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

● 研究の名称

重症急性脳障害患者における ICU 入室早期の体温動態と神経学的予後の関連：
疾患別不均一性の検討

● 研究の対象

2011 年 12 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までに、当院 ICU に入室された重症急性脳障害(脳卒中、くも膜下出血、頭部外傷、心停止蘇生後、てんかん・脳炎・脳症)の患者さんを対象とします。

● 研究の目的

重症急性脳障害において、発熱は脳への二次的な損傷を悪化させる要因とされていますが、その影響は疾患背景(脳卒中や頭部外傷など)によって異なると考えられています。本研究では、ICU 入室後 24 時間以内の最高体温がその後の神経学的予後に与える影響を疾患別に解析し、疾患特性に応じた最適な体温管理戦略(個別化体温管理)の必要性を明らかにすることを目的としています。

● 研究の期間

研究機関の長の実施許可日から 2026 年 9 月 30 日まで

● 研究の方法

日常診療時に得られた下記の項目について、過去のカルテに遡って調査する「後方視的観察研究」です。

《利用する情報の項目》

- **試料:** なし
- **情報:** 年齢、性別、体温、既往歴、疾患の重症度指標(NIHSS、WFNS、来院時 GCS 等)、退院時の神経学的予後(退院時 GCS)など

なお、利用する情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報
は削除します。

《利用を開始する予定日》

実施許可日

《利用する者の範囲》

研究機関名および研究責任者名：京都第二赤十字病院 救急科 藤原大悟

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止(受付方法含む)》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由で、データを取り除くことができない場合があります。

《問い合わせ先》

- **研究機関:** 京都第二赤十字病院
- **担当者:** 初療診療・Acute Care Surgery 科 藤原大悟
- **住所:** 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5
- **TEL:** 075-231-5171